

令和7年度 田尻さくら高等学校 学校評価 補足資料

学校評価の意義

（高等学校に準用）
小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。
[学校教育法第42条]

回収率

生徒：(R2)79%→(R3)71%→(R4)75%→(R5)57%→(R6)58%（WEB回答92%/紙回答8%）→(R7)66%
今年度からすべてQRコードを読み取ってのweb回答とした。

保護者：(H30)64%→(R1)51%→(R2)63%→(R3)52%→(R4)49%→(R5)42%→(R6)40%→(R7)48%
今年度からすべてweb回答とした。紙でQRコードを郵送したほか、さくらメールでリンクを送り回答していただいた。結果回答率が向上した。また生徒の記名式でお願いした。

肯定的評価(%)：＝「1よく当てはまる」＋「2だいたい当てはまる」

		(%)		
校訓・教育目標・スクールポリシー		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生3	校訓を知っている。[本校の校訓 (1) 自律 (2) 進取 (3) 誠実]	81	79	2
保1	「教育目標」を理解している。	93	89	4
生4	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	95	89	6
保2	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	94	96	-2
生徒・保護者の多くがスクールポリシーに基づいた教育課程の編成および実施がされていると認識していることが分かる。				

学習指導		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生6	田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立っている。	97	93	4
生13	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	95	90	5
保3	田尻さくら高校は子どもの教育に熱心に取り組んでいる。	93	94	-1
保6	お子様は、学習の仕方や内容を身につけている。	73	80	-7
保7	田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立つ。	94	97	-3
保13	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	89	92	-3
生徒保護者とも高評価を維持している。保護者は、生徒の学習の仕方などに課題があると感じている。				

図書館の利用		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生7	図書館は利用しやすい雰囲気である。	83	88	-5
保8	お子様たちの学習や読書活動に図書館が役立っている。	64	73	-9
図書館については、生徒の肯定的評価が毎年8割を超えており、今年度は聴講生の利用もあることから、本校では異世代交流の場ともなっている。今年度の4月から11月の図書貸し出し数は、587冊（生徒：246冊、教職員：181冊、聴講生:160冊）である。昨年度は、同時期に738冊であり、今年の貸し出し数はやや下がった。生徒たちは図書館を授業や休憩等でも利用しており、生徒の居場所の一つとなっている。				

生活指導		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生8	生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	93	88	5
保9	生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	91	91	0
生14	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	91	90	1
保14	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	91	84	7
生活指導全般については、概ね良好である。特に保護者の挨拶・マナーは保護者の肯定的意見の上昇がみられる。生徒も本校の生徒指導は適切であると感じている。				

愛好会活動		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生17	愛好会活動は活発に行われている。	76	84	-8
保17	愛好会活動は活発に行われている。	74	84	-10
前年度よりポイントは下がっているが、活動している生徒たちは、楽しく取り組んでいるように見える。				

自治会活動		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生18	自治会活動は活発に行われている。	82	80	2
保18	自治会活動は活発に行われている。	79	92	-13
保護者のポイントは、前年と比べて落ちているが、活動の様子などを見る機会がないことが影響していると考えられる。				

学校行事		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生19	スポーツ祭や高校祭、講演会など、有意義な学校行事がある。	97	91	6
保19	スポーツ祭や高校祭、講演会など、お子さんにとって有意義な学校行事がある。	95	90	5
学校行事や講演会は、高い評価を得ている。				

進路指導		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 + UP - dwon
生9	進路に関する資料はわかりやすい。	88	92	-4
生15	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	94	94	0
保10	進路に関する各種情報が適切に提供されている。	88	82	6
保15	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	91	94	-3
概ね高い評価を得ている。進路に関する各種情報が適切に提供されている、の保護者回答は昨年度大きくポイントが下がったが、今年度は改善が見られている。				

生徒の健康管理		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 + UP - dwon
生10	保健室は利用しやすく、自分の心身の健康管理に役立っている。	81	91	-10
保11	学校としてお子様の心身の健康管理に努めている。	92	92	0
生11	日常の清掃活動にまじめに取り組んでいる。	92	87	5
保12	学校として日常の清掃活動がなされており、衛生的である。	90	99	-9
保健室は、当日の学校管理下で起きた傷病の対応と休養のための場所です。今年度より心身を休めるため、スマホ等の利用は原則禁止としました。不便に感じる生徒もいると思いますが、安心して休める環境づくりにご理解とご協力をお願いします。				

災害時の避難・連絡		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 + UP - dwon
生12	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	93	90	3
保21	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	87	92	-5
毎年、年度初めにさくらメール登録を行い、災害・非常時に備えている。停電想定をして暗いⅡ部帯に実施する避難訓練や、すまいる園との合同避難訓練を行い、防災ボランティアをはじめとして、生徒の防災意識を高めた。保護者へ避難方法や連絡方法の周知をしていく必要がある。				

特色ある学校づくり		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 + UP - dwon
生20	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	91	83	8
保20	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	92	95	-3
さくらギャラリーで夏はボランティア生徒が作った七夕飾りのもと書道展を実施し、初春には書初め展を行っている。今年度はオープンキャンパスで茶道の生徒たちがお点前を披露して中学生にお茶をふるまっている。また、去年に続きするめ天旗づくりを沼部小学校の児童と行うなど、伝統文化に根ざした学校づくりに取り組んでいる。生徒の評価は上がっている。				

学校の情報		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 + UP - dwon
生21	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	90	88	2
保22	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	93	97	-4
概ね良好である。メール配信、さくら通信等を通して、保護者や生徒に学校の情報が適切に伝わっている結果が反映されている。				

校舎等の施設設備		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 + UP - dwon
生22	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整っている。	92	86	6
保23	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	99	94	5
生徒保護者教員すべて肯定的評価が上がっている。特別教室などにもエアコンが付き始めるなど、徐々に整備が進んでいるからと考えられる。				

教育相談		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比差 +UP -down
生16	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカー、学校生活適応支援員が必要ときに相談に応じてくれる体制ができています。	95	92	3
保16	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカー、学校生活適応支援員が必要ときに相談に応じてくれる体制ができています。	91	88	3
高いポイントで推移している。SCやSSWとの連携し、引き続き生徒たちの支援を行っていく。				

いじめの早期発見・共有		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生23	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	83	81	2
保24	学校と保護者が、いじめ問題に対する取組方針を共有している。	79	78	1
保護者の肯定的評価が80に届いていない。教職員が高い意識でいじめ問題に取り組んでいることを保護者に共有されていないことが考えられる。生徒の評価は、2割弱は否定的意見と見ることができる。否定的意見を見逃さないことが必要である。				

P T A 活動		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
保5	P T A 活動は活発であり、その取り組みは活発である。	82	94	-12
P T A 役員会では保護者の方々が無理なく参加していただいいて楽しみながらPTA活動を行うようにしている。さくら高祭では、多数の保護者・教職員のご協力のもと、飲食の模擬店は盛況であった。P T A 通信や「あさかぜ」でもPTA活動の様子を適宜伝えている。その中で、保護者意見が大きくポイントを下げたのは残念である。さらなる活動の周知が必要か。				

学校生活の充実度		R7 肯定的評価	R6 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生5	田尻さくら高校に入学して良かった。	97	88	9
生24	学校生活はとても充実している。	89	82	7
保4	お子様を田尻さくら高校に入れてよかった。	92	90	2
保25	お子様の学校生活は充実している。	78	82	-4
生徒と保護者の9割以上が「田尻さくら高校に子どもが入学してよかった」との回答している。生徒の学校生活の充実度を高めるため、教職員の継続した指導が期待される。				